

## 第 7 回 通常総会 次第

日時:平成 23 年5月 29 日(日曜日)午後 2 時～4 時

会場:すみれ自治会集会所

一. 開会の言葉

二. 理事長挨拶

三. 議長選出、書記任命

四. 定足数の確認

五. 議事録署名人の選出

六. 議事

1) 報告事項(承認)

第 1 号議案 平成 22 年度活動報告について

平成 22 年度活動報告(資料1～3)をご覧ください

資料1:学びなおし塾 いっぽ 事業報告

資料2:歌舞伎音楽と三味線こどもおもしろ体験教室 事業報告

資料3:講師派遣およびコーディネーター業務活動報告

第2号議案 平成 22 年度決算報告について

平成22年度収支計算書(資料4)、財産目録(資料5)、会計監査報告書(資料6)を  
ご覧ください

第3号議案

事務局運営に関する状況と今後の見通しについて

資料7をご覧ください。

2) 審議事項(決議)

第4号議案 役員一部改選(案)について

資料 7 をご覧ください。

第5号議案 平成 23 年度活動計画(案)について

平成 23 年度活動計画案(資料 8)をご覧ください

第6号議案 平成 23 年度予算(案)について

平成 23 年度予算案(資料 9)をご覧ください

七. 書記解任、議長解任

八. 閉会の言葉(理事長)

\*総会終了後懇親会を開催いたします、引き続きご参加ください。

相模原市経済部働く人支援課・NPO きょういく応援団協働事業

平成 22 年度「学びなおし塾 いっぽ」の活動報告

「学びなおし塾 いっぽ」は、相模原市働く人支援課と NPO 法人きょういく応援団の協働事業として、月・水・金曜日の 9 時から 12 時まで、100 回の授業を実施しました。

<趣旨と事業概要>

学びなおし塾「いっぽ」では、学力面に絞った学習支援やコミュニケーション能力・社会適応力のトレーニング等を行うことで、自己肯定感・自己効力感を育み、学力や人間関係に不安を抱える若者が社会に出て行くためのお手伝いをします。

この事業は相模原市と NPO 法人きょういく応援団の協働により運営され、市民のボランティア講師やインターンシップ受け入れ企業等にご協力をいただきました。

22 年度は主に義務教育期間の学びなおしに注力しましたが、途中、教室の雰囲気作りや塾生間のコミュニケーションを図るために、かまぼこ作りの体験に行ったり、麻溝公園でクラフト工芸に挑戦したり、調理実習を開催したりしました。そうした中で落ち着いて学習に臨む環境を作り、目標に向けて楽しく集中して学習することができました。

各塾生の様子は下記の通りです。

★終業までいた生徒

① 生徒 A さん(女性)

入塾前：公立高校に合格することができず、私立高校は合格してはいたが距離的な問題で通う気持ちにならず、公立中学を卒業後、行く先がなくなる。働くには若く、本人にもその気が無いため、親族もどうしてよいかわからない状態になっていたところで、いっぽを見つけ、入塾を希望。

その後…高校進学。進学後の連絡では、とても楽しく高校に通っているとのこと。

② 生徒 B さん(女性)

入塾前：小学校時代から学習はあまり好きではなかったが、中学校に入ってから、学習内容についていくことができなくなり、ひきこもる。あきらめていた高校進学を目指し、学習をすることに。

その後…体調不良で高校受験の機会を逃してしまったため、再度いっぽで学習をし直し、高校受験を目指す。本人は通塾も苦ではなく楽しく通っていると保護者も話していたため、体調面で問題さえ起きなければうまく希望をかなえることもできると思われる。

③ 生徒 C さん(女性)

入塾前：生活保護を受けていて、支援課担当者より紹介を受けて、後期に入塾する。目標は就職で、まともな就職はこれまでしてこなかったため、まずは基礎学力を身につけてから就職を目指そうということに。人と話すときに、慣れるまでは目を見て話すことができず、第一印象がよくないように感じられた。

その後…ほとんど休むことも無く、真面目に通う。就職に少しでもつながればということで、食品衛生責任者の資格を取得する。算数の学習をした後、漢字検定の学習を進める。原動機付自転車免許取得と漢字検定合格を目指し、再度いっぽに通いながら、学習を再開。

大分他の生徒とも打ち解けて、話も自分なりにできるようになったと感じていた様子。今後は学習を継続しつつ、就職に向けて、面接の練習や話し方の練習もしていく必要がある。

#### ★途中で来なくなった生徒

##### ④ 生徒 D さん(男性)

入塾前:小学校の途中からひきこもっていた。通信制高校に進学したが、単位が一つも取れず、単位取得の支援を受けるために通塾を決意。

その後…原因は本人にもわからないが、途中から通塾出来ず、家族も悩んではいたが、最後まで通うことはできなかった。家を訪問したり、来てもらって保護者とともに話し合いもしたが、改善できず。元々、気力が無く、とてもおとなしい性格なため、女性しかいないいっぽの教室がいづらいものだったのかもしれない。

##### ⑤ 生徒 E さん(男性)

入塾前:小学校からあまり学校に行かず、中学校に入っても同様。高校は一度は通信制高校に入学したが、うまくついていくことができず、中退。本人としては、大学向けの学習をして、大学進学を目指す。(医療関係の仕事に就きたいということも口にしていた)

その後…しばらくは通ってきていたが、プライドが高く、自分よりおそらく年下であろう他の生徒と同様の学習をしていることが我慢しきれない様子で来なくなってしまった。

##### ⑥ 生徒 F さん(女性)

入塾前:小学校からあまり学校に行かず、中学校に入っても同様。中学校を卒業後、一人暮らしをしながら働いていたが、職務に精神的に耐えられず退職して家に戻る。学力に自信がなく、学ぶことは好きということで、生活支援課の紹介で入塾する。

その後…他の塾生に比べて理解力は低くなく、要領も良い面が見えたが、まともに残っていた塾生の中では欠席が多かった。家庭の事情があり、家を出たため一時休塾。支援を受けながら一人暮らしをし始めたタイミングで復帰したが、情緒不安定で目標も見えなくなり落ち着いて学習できる状況ではなくなったため話し合いの結果、前期で退塾することになる。

#### ★総括

素直に自分の状況を受け入れて頑張ることができるのは、比較的女性に多いように見受けられた。今後は、そののところに十分に配慮し、男性陣も無事に見送ることができるように努力したい。高校受験など、シンプルな目標に対しては効果的だが、就職が目標となると、そう簡単には先に進められないことも多々あり、戸惑いを感じている。昨年度通ってきた生徒については、数は少なかったものの、修了までいた生徒は皆満足していて、高校進学者以外は、もっといっぽに通ってより多くのことを学びたいという気持ちが溢れている。高校進学者も含め、どうしていいかわからなかった生徒が、自分が頑張ることのできる道を見つけられたという点においては、効果が相当あったと考えてもよいように思える。

## 協働事業提案制度事業「まなびなおし塾」収支報告

## 収入の部

(単位：円)

項 目	金 額	小 科 目	予 算	決 算
受講者負担金	339,575	受講料	1,560,000	315,000
		教材費	130,000	24,575
きょういく応援団負担金	32,983	きょういく応援団負担金	0	3,2983
市負担金	3,222,000	市負担金	3,222,000	3,222,000
収入合計			4,912,000	3,595,558

## 支出の部

(単位：円)

項 目	金 額	小 科 目	予 算	決 算	負担金充 当
運営費	3,513,282	人件費（賃金）	3,834,000	3,222,000	○
		事務局管理費	600,000	291,282	
		予備費	58,000	0	
事業費	81,276	報償費（謝礼） 1	80,000	4,800	
		報償費（謝礼） 2	80,000	0	
		消耗品費	180,000	26196	
		使用料及び賃借料	80,000	50,280	
支出合計			4,912,000	3,595,558	

収支差額

0

## 「平成22年度文化庁伝統文化こども教室」委託事業

## 「歌舞伎音楽と三味線こどもおもしろ教室」の報告

常磐津東蔵

8月2日。6日。9日。23日。24日の5日間で11回、講座を行った。

場 所 相模原市青少年学習センター  
 会 場 講習は会議室。発表会はホール  
 受 講 生 中学生1名。小学生13名  
 費 用 受講料無料  
 講 師 常磐津東蔵・助手常磐津文字絵・  
 スタッフ 池辺民雄・鈴木あい子・会計中村美穂子

以上の要領で事業を実施した。

※受講者の募集は会場近辺の小・中学校にチラシを配る方法をとった。事業決定後の募集期間が短く、広範囲に応募もかけられなかったこともあり、締め切りまでに応募されてきたのは募集定員20人を下回る14人であった。しかし振り返ってみると、主任講師と助手の2人で、三味線を見たことも触ったこともないこども相手の実技講座であったので、少人数ゆえ全体に目をよくゆき届かせられ、結果的にはこの人数でむしろ良かったと思っている。

## 講座内容

◆こどもたちに三味線の体験を通し「自分たちは、外国人とまた違った性質や考え方を持つ人間である」。と云うことを心に留めたいうえで人生を歩んでほしい。との願いをこめた主意の講座で、450年前「先祖が発明した不思議でおもしろい三味線の特殊性をレクチャー。各々が身体に内包している感性を認識してもらうことが眼目である。

◆歌舞伎劇の音楽である浄瑠璃「三社祭」の唄とセリフの稽古をして、200年程前の江戸期の情緒、雰囲気を感じてもらった。大人がやる唄やセリフに子どもが積極的に参加してくれるものか一抹の不安を持ってやってみたのであるが、素直に何の抵抗感も無くみんな上手に唄もセリフも上手に語ってくれた。抵抗どころかとてもそして楽しそうであった。

◆「日本人らしさ」の情緒を分かってもらってから三味線の稽古に入った。

◆三味線は持ち構えるのに体力を使うので10分も構えていると腕がかたくなる。きちんと休憩時間を摂ると時間ももたないないので、腕を休める間には唄とセリフの復習、楽器の特性、日本文化の特徴等の話をした。

◆普通楽器のレッスンと云うと、少しでも早く演奏を出来るようにさせてやろうと、指導者はメロディを奏でさせることに躍起となり、そら弾け、やれ弾けと生徒をけし掛けるようなことをするが、私は独自の方法を考えた。僅か10回の講習で全員とはいかないがまあまあ3曲弾けるまでに習得してくれた。

◆最終日には、身に着けた成果を家族やお友達に見てもらって発表会を行ったが、発表会に先立ち私が「日本の伝統文化の特徴」について少し講話を行った。

お出で下さったお客数は34人で、会場は和やかに家庭的なムードで賑わい、お別れに「手締め」をして盛会裡に講座は終了した。

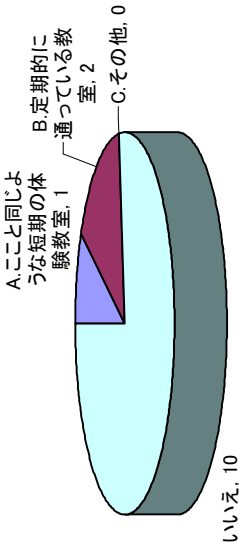
◆参加者全員からアンケートをもらいました。結果は次ページの通りです。

◆中村さんは全講座、池辺さんと鈴木さんは交代で1回おきに世話役を務めて下さいました。特に池辺さんは最終日の発表会では蒸し暑いなか、客席作りにそしてアンケートの集計からPCによる表作りまでと大奮闘、多大なるご尽力をいただきました。

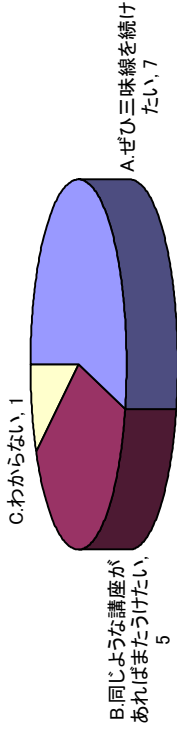
アンケートをご覧のように、子どもたちにとっても喜ばれた事業でした。



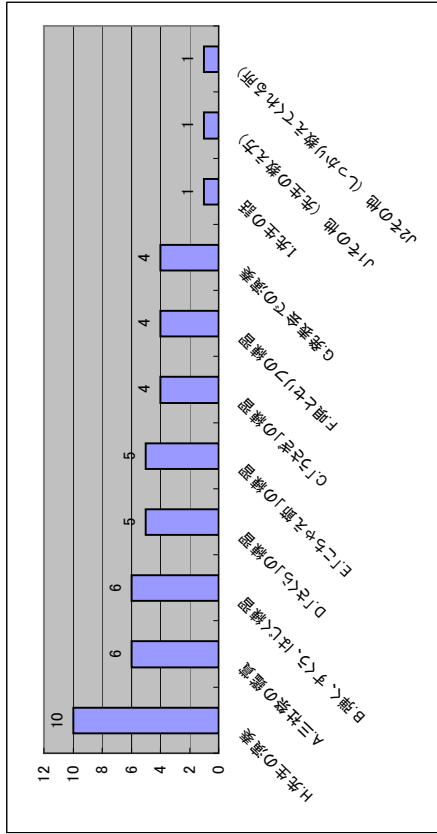
Q1. いままでにこの講座のほかに三味線を習ったことがありましたか。



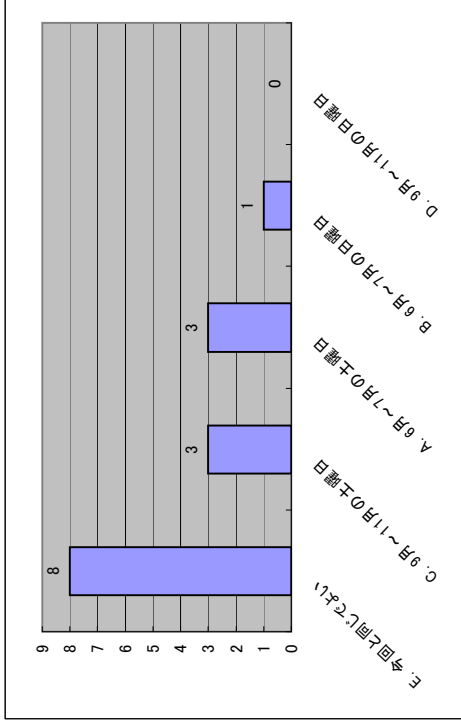
Q3. この講座を受けて三味線をもっとやってみたくありませんか。



Q2. この講座で印象に残ったものすべてに○をしてください。



Q4. 今回は夏休みの期間中に講座を開きましたが、どの期間だったからもっと良かったでしょうか！よ！と思っただけのものすべてに○をつけてください。



Q5. 最後に感じたことやもっとこうして欲しいなどの希望があれば書いてください。

- ・むずかしかったけど、だんだん慣れてよかったです。
- ・楽しいほうがよかった。
- ・もっと、じっくり練習してほしい。
- ・時間が長いから、期間をのばす。
- ・小4だったからかもしれないが、少しむずかしかった
- ・三味線はいろいろな音が出て、他の国との共通点も多しと知り、もっと知りたいです。
- ・先生の話聞いて、日本の文化を知ることが出来て楽しかったです。
- ・いろいろな曲をもっと演奏したいです。
- ・もっと、やる数を多くしてほしい。
- ・この度は、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました(母)
- ・親子で一緒に参加出来たら楽しいのでは無いでしょうか。

## 伝統文化こども教室 歌舞伎音楽と三味線こどもおもしろ体験教室収支報告

## &lt;支出の部&gt;

費目	予算	実績	差異
(1) 諸謝金 指導講師謝金(含演奏料) 指導助手謝金(含演奏料) 当日雑用協カスタッフ謝金 事務謝金	245,300	245,300	0
(2) 借料 三味線レンタル料(運搬料共) 会場費(会議室) 会場費(ホール)	81,700	82,150	450
(3) 教材・用具費 三味線糸	10,000	11,200	1,200
(4) 旅費 講師旅費 指導助手電車賃	12,100	12,100	0
(5) その他 A4コピー用紙代・インク代 A4コピー用紙代 A4和紙コピー用紙代 インク代 A4コピー用紙代 切手代 EXパック代 帳簿代	7,900	8,991	1,091
(6) 発表会・大会 経費 発表会当日協力者謝金	5,000	5,000	0
支出合計	362,000	364,741	2,741

## &lt;収入の部&gt;

費目	予算	実績	差異
文化庁 伝統文化こども教室助成金	362,000	362,000	0
寄付金	0	2,741	2,741
収入合計	362,000	364,741	2,741

## &lt;収支差額&gt;

収支差額	(収入合計-支出合計)	0	0
------	-------------	---	---

講師派遣およびコーディネーター業務

小学校 1件、中学校 1件、高校 3件の活動を、以下のとおり行いました。

平成22年

◎8月19日(木) 相模原総合高校面接指導 (担当 柳瀬一路)

高校生が就職活動を行うに当たり、基本的に身に付けておかなければならない礼儀作法や受け答えの方法、履歴書の書き方など、第一線で働く現役の社会人が直接指導を行った。例年20名弱の人数を2名体制で半日実施するが、平成22年度は一人の面接官が1日かけて16名の面接指導を行った。なお、面接官は柳瀬が引き受け、平成22年度は4年目の役となりました。

◎10月23日(土) 富士見小学校「PTAわいわい祭」(コーディネーター 折本さん)

加藤順康さん(折り紙) 小林茂信さん(万華鏡) 生嶋なぎさん(小枝のイーゼル)をお願いしました。

◎10月29日(金) 鶴川中学校面接指導 (担当 柳瀬一路)

高校入試の際の面接に慣れるための訓練を支援するため、13時30分から16時まで、5人の社会人を派遣し、3年生139人を5つの組に分けて実施しました。

◎11月22日(月) 上鶴間高校職業講話 (担当 日野孝次朗)

高校生の職業観を養うため、一般社会人による職業講話を14時30分から16時15分まで2回に分けて、12人(全体で20人)の講師を派遣し実施しました。

平成23年

◎2月3日 綾瀬西高校職業講話 (担当 日野孝次朗)

高校生の職業観を養うため、一般社会人による職業講話を13時から15時分まで6人の講師を派遣(全体では15名参加)し実施しました。

コーディネート活動収支

- ・収入 15,000円 (綾瀬西高校 講師派遣報酬 6名×2,000円、わいわい祭謝礼 3,000円)
- ・支出 9,400円 (事務作業人件費 8,400円 コーディネータ謝金 1,000円)
- ・収支差額 5,600円

<講師派遣事業の取組みの現状>

応援団の運営を維持する費用を捻出するためには事業の合理化と収益化をはかる必要がありますが、以下の理由により職業講話のための派遣事業について、特に力を入れてゆきたいと考えています。

・理由その1

実施方式を定型化しやすく、コーディネート負担が比較的小さいこと。  
 今後→実施方法をマニュアル化し、学校側も応援団の実施方法に歩み寄ってもらいたいと考えます。

・理由その2

派遣対象は主に職業人なので事業者からの協力を得られやすくなること。  
 今後→参加者にとってメリットのある事業にしたいと考えています。  
 たとえば次のような工夫を検討したいと思います。

- ①講師が属する職業の魅力が生徒に伝わる工夫
- ②講話の体験を講師自身にとって有意義なものにする工夫。
- ③講話の実績が社会に評価される工夫。
- ④事業者同士の連携を促す工夫。



<ご協力をお願い>

以上の方針で職業講話事業を積極的に推進するための小委員会を立ち上げています。  
 多くの方から以下のようなご協力を得たいと考えております。

- ①講師募集への協力(但し、参加条件を理解し納得できる方のみが対象です。)
- ②学校への宣伝(登録講師を派遣可能な範囲ならどこでも構いません。)
- ③データの分析や管理
- ④実施の手配(コーディネート)
- ⑤活動や実績のPR
- ⑥講師の連携促進
- ⑦企画、その他実施に関するアイデアの提供



<職業講話小委員会は理事会開催日に開催します>

講師派遣事業の企画運営を検討する小委員会を、理事会を開催する日時の1時間前に開催しております。  
 ご興味のある方にぜひご参加いただきたいですが、小委員会の委員となるためには応援団の会員になっていただく必要があります。

<詳しくは>

NPO 法人きょういく応援団理事 日野孝次郎までお問い合わせください。  
 電話 090-8725-3832 又は 042-701-3010 FAX042-701-3011 E-MAIL hino@cozylaw.com

<在予定されている事業>

学校	内容	日時	備考
相模台中学校	職業講話	6月30日 木曜 5.6校時	定員4~6名 5名確保済
相模原総合高校	面接演習	H23年8月18日(木)、19日(金)、22(月)のうち1~2日程度。32名に対し実施。	
大和西高校	職業講話	11月14日 月曜 12:30~14:00 5.6校時	2名派遣 法曹 国際関係 ほぼ内定済み
上鶴間高校	職業講話	見込みのみ(昨年度実施)	10名~20名程度
綾瀬西高校	職業講話	見込みのみ(昨年度実施)	10名~20名程度

書式第12号(法第28条関係)

## 平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支計算書

平成22年 4月 1日 から 平成23年 3月 31日まで

第7期

特定非営利活動法人 きょういく応援団

(単位:円)

科 目	金	額
<b>I 収入の部</b>		
1.会費収入		
正会員入会金	0	
正会員年会費	55,200	
賛助会員年会費	30,000	
団体賛助会員年会費	0	
		85,200
2.事業収入		
相模原市協働事業提案制度事業収入(学びなおし塾いっぽ)	3,537,000	
教材費収入(学びなおし塾いっぽ)	24,575	
講師派遣事業収入	15,000	
		3,576,575
3.助成金等収入		
文化庁委託事業 伝統音楽子ども教室	362,000	
		362,000
4.寄付金収入		
一般寄付金	10,800	
講師寄付金(伝統音楽子ども教室)	2,741	
		13,541
5.その他収入		
利息収入	307	
		307
当期収入合計		4,037,623
収 入 合 計		4,037,623
<b>II 支出の部</b>		
1.事業費		
(1)相模原市協働事業提案制度事業(学びなおし塾いっぽ)		
人件費(講師・助手・教室スタッフ)	3,222,000	
事務局費	291,282	
講師活動費(謝礼)	4,800	
教材費	26,196	
会場費	50,280	
		3,594,558
(2)学校等教育活動協力事業(講師派遣事業)		
コーディネーター活動費	9,400	
		9,400
(3)文化庁委託事業 伝統音楽子ども教室		
事務局費	14,300	
印刷費	7,991	
通信費	580	
旅費交通費	12,100	
消耗品費	11,200	
講師活動費	165,000	
事務用品費	420	
会場費	7,900	
賃借料	74,250	
スタッフ人件費	71,000	
		364,741
当期事業費計		3,968,699

2.一般管理費			
租税公課	151,000		
通信費	21,259		
水道光熱費	4,024		
旅費交通費	0		
接待交際費	0		
広告宣伝費	7,430		
会議費	980		
事務用品費	4,725		
備品消耗品費	54,979		
事務職員人件費	158,350		
印刷費	3,825		
地代家賃	61,000		
支払手数料	46,265		
雑損失	12,800		
当期一般管理費計		526,637	
当期支出合計			4,495,336
当期収支差額			-457,713
前期繰越収支差額			1,166,872
次期繰越収支差額			709,159
正味財産の部			
資産減少額			
什器備品除却損	4,000		
資産減少額合計		4,000	
当期正味財産減少額			461,713
前期繰越正味財産			1,166,872
正味財産合計			705,159

## 平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

平成23年 3月 31日現在

第7期

特定非営利活動法人 きょういく応援団

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	1,678,400	
現金手許有高	93,907	
普通預金 八千代銀行相模大野支店	469,400	
普通預金 八千代銀行いっぽ	668,291	
普通預金 八千代銀行伝統音楽	2	
郵便貯金 振替口座	446,800	
未収金	2,400	
正会員年会費(1件)	2,400	
流動資産合計		1,680,800
2 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		1,680,800
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	49,000	
次年度会費等	49,000	
未払金	835,201	
事業経費未清算	717,316	
一般管理費未清算	117,885	
預り金	91,440	
源泉徴収税	91,440	
流動負債合計		975,641
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		975,641
正味財産		705,159

## 会計監査報告書

特定非営利活動法人きょういく応援団の平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）会計監査の結果報告をいたします。

平成22年度に作成された帳簿、会計諸表と預金通帳等の照合の結果、適正に処理されて正確であることを認めます。

平成23年5月25日

監事

池邊民雄



平成23年度 第7回通常総会 第3号議案

事務局運営に関する状況と今後の見通しについて

事務所の移動に伴い、法人所在地を以下のように変更いたしました。

〒252-0303  
神奈川県相模原市南区相模大野8-2-6  
第一島ビル403 のぞみ合同事務所内  
きょういく応援団事務局  
TEL: 042-701-3010  
FAX: 042-701-3011  
E-mail: info@e-ouendan.org

平成23年度 第7回通常総会 第4号議案

役員一部改選について

本NPO法人の役員の一部変更を以下のように提案いたします。

監事退任

吉川 和代 (平成22年10月20日 退任)  
池邊 民雄 (総会の日 退任)

監事(候補)

(かとう よしやす)  
加藤 順康 (任期:総会の日から現役員任期まで)

理事(候補)

(いけべ たみお)  
池邊 民雄 (任期:総会の日から現役員任期まで)

変更後役員体制(参考)

注:( )内は主担当業務

理事長 柳瀬 一路  
副理事長 矢野 英明 (渉外担当)  
理事 多田 徹 (伝統音楽事業担当)  
日野 孝次郎 (講師派遣事業担当)  
吉澤 洋志 (学びなおし塾事業担当)  
池邊 民雄 (庶務担当)

監事 加藤 順康

## 平成 23 年度 NPO 法人 きょういく応援団 活動計画 (案)

## &lt;活動方針&gt;

設立趣旨を念頭に置きつつ、「地域の子どもたちは地域全体で育てよう」をモットーに、行政や地域、学校と連携しつつ、子どもたちが健やかに幸せに育ち、住民も、生き活きと豊かに暮らせる環境づくりに貢献することを目指して活動を行う。

## &lt;実施に対する考え方&gt;

- ・ 講師派遣、コーディネート業務に関しては、コーディネーターの人材が確保できるまでの間、対応できる範囲内で適宜学校に対して講師派遣を実施していく。
- ・ 「夏休み みんなの一日大学」に関しては、実施しない。
- ・ 講師の PR については、チラシやホームページ等を使って行う。ただし、チラシや HP の原稿作成は、各講師が責任を持って行うこととする。
- ・ 会員の要望等により、新規事業を立ち上げる必要がある場合、提案者が責任者となって事業内収支がマイナスとならないよう事前に事業計画を立て、理事会で承認された場合に実施できるものとする。

## &lt;事業名&gt; 学びなおし塾「いっぽ」

責任者 吉澤 洋志

学びなおし塾「いっぽ」では、学力面に絞った学習支援やコミュニケーション能力・社会適応力のトレーニング等を行うことで、自己肯定感・自己効力感を育み、学力や人間関係に不安を抱える若者が社会に出て行くためのお手伝いをします。この事業は相模原市と NPO 法人きょういく応援団により運営され、市民のボランティア講師やインターンシップ受け入れ企業等にご協力をいただきます。

## 1. 入塾対象者について 以下の要件をすべて満たす方

- ・ 義務教育終了～35 歳未満で、相模原市にお住まいの方
- ・ 本人に学ぶ意欲があり、家庭の協力が得られる方

定員は 15 名とし、定員を超える応募があった場合には選考をさせていただきます。

## 2. 実施概要について

期間：前期 平成 23 年 5 月から平成 23 年 9 月まで (50 回)

後期 平成 23 年 10 月から平成 24 年 2 月まで (50 回)

時間：原則として午前 9 時～12 時

場所：矢部駅または橋本駅周辺の公共施設等

料金：授業料：無料 施設利用料として 1 か月あたり 1,000 円 (入塾時に 1,000 円、その後前月末までに翌月分の 1,000 円を支払うものとする。※教材費、校外学習のための交通費や特別授業の材料費は各自負担とする。

## 3. 授業内容について

○ステップアップコース：資格取得など、就職に向けたキャリアアップの学習をするコースです。基本的に自学自習になり、スタッフはスケジュール作成、進捗確認などのフォローアップをします。

○基礎学力向上コース：義務教育を中心とした学びなおしをします。計画を立て、講師が学習支援をします。

<事業名> 「職業講話」

責任者 日野 孝次朗

<目的>

子ども達の職業観を育成する目的で、県立高校等からの要望により、職業に携わる一般市民を所定の期日に派遣し、講話をおこなってもらう。

職業人の生の声を聞かせることにより、高校生が実社会について真剣に考えることを促し、職業選びを踏まえた計画性のある高校生生活を促すとともに、一般市民が学校教育の実情にふれる機会を提供し、市民による学校教育支援を促進することも目的としている。

<開催日程>

昨年度の実施事例により、11 月中及び 2 月中に県立高校において実施する可能性が高い。

<参加講師数>

5 名～20 名程度

<目標>

生徒の個性を生かし、適切に選択されるよう講師の PR に工夫をしたい。

有志による「職業講話小委員会」を組織し、「職業講話」事業企画を立案/推進。

実施にかかる準備作業の効率化とサービスの質の向上についても工夫したい。

講師の募集と登録方法について協議し、高校生の職業観の育成に適切に効果を果たせる方を見出したい。

<H23 年度職業講話の収支計画>

収入

4 校で実施 派遣講師 10 名 講師 1 名につき 2,000 円を派遣報酬として受領する予定  
 $2,000 \text{ 円} \times 10 \text{ 名} \times 4 \text{ 校} = 80,000 \text{ 円}$

支出

①WEB 作成管理費 20,000 円

②コーディネーターの交通費 2 名  $\times 1,000 \text{ 円} \times 4 \text{ 回} = 8,000 \text{ 円}$

③コーディネーター人件費 5h  $\times 1,000 \text{ 円} \times 2 \text{ 名} \times 4 \text{ 回} = 40,000 \text{ 円}$

④関係資料の印刷費 (当日配布資料)  $10 \text{ P} \times 20 \text{ 人} \times 4 \text{ 回} \times 5 \text{ 円} = 4,000 \text{ 円}$   
 (準備資料)  $200 \text{ P} \times 5 \text{ 円} = 1,000 \text{ 円}$  計 5,000 円

⑤雑費 ,3000 円

支出合計 80,000 円

収支差額

0 円

<事業名> 三味線体験ワークショップ ―歌舞伎音楽から民族性をさとる―

責任者 常磐津東蔵

<目 標>

相模原市協働事業提案制度（市民提案型）に応募し、平成 24 年度事業実施のための準備を平成 23 年度に行なう。

以下の事業内容概要にて、すでに相模原市協働事業として提案済です。

<事業の目的>

対象は学生、一般人その他大勢。レクチャーと三味線体験から、自分たちに与えられている民族性に気づくことにより、次世代を担う青少年のすさみつつある精神環境の改善を目指す。またこれからのグローバル社会において自国の文化の特殊性の知識は、社会を見る目の視野と心を広げ、豊かな人間形成に寄与される。

<構成>

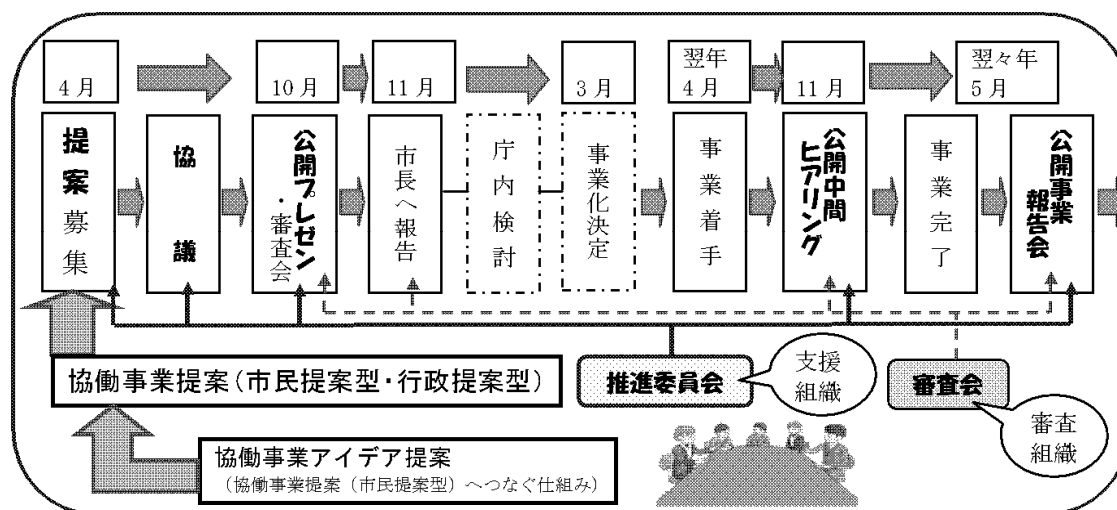
以下の 4 つのワークショップで構成する。

1. 伝統音楽指導者育成ワークショップ
2. 伝統音おもしろワークショップ (1) 出前授業型三味線体験基礎コース
3. 伝統音おもしろワークショップ (2) 一般向け三味線体験初級コース
4. 歌舞伎音楽鑑賞会と体験ワークショップ (常磐津浄瑠璃「三社祭」)

各ワークショップの内容と、予算案は別紙を参照ください。

<スケジュール (H23 年度)>

協働事業提案制度の流れ



三味線体験ワークショップ〈歌舞伎音楽から悟る民族性〉事業 一覧

名称	1.伝統音楽指導者育成ワークショップ	2.伝統音おもしろワークショップ(1) 出前授業型方三味線体験基礎コース	3.伝統音おもしろワークショップ(2) 一般向け三味線体験初級コース	4.歌舞伎音楽鑑賞と体験ワークショップ 常磐津浄瑠璃「三社祭」
概要	*和楽器は日本人独特の感性で作られているので、洋楽器と同等な扱いで生徒に教えるのでは教える意味がない。 楽器の特徴、本質を飲み込んだうえで、生徒に楽器の素晴らしさを教えてもらう指導者育成のための講座。	*自分たちの先祖に、こんなに素晴らしい、不思議なおもしろい楽器を作った人がいたことを知り、日本人として、このようなものを作る感性・素養が自分にもあることを悟ることで、夢ある将来に繋げてもらう。	*三味線と云う楽器は、ものすごく繊細で複雑、デリケートで、演奏テクニクにより醸し出される情緒が無限に広がる不思議な楽器である。 日本人としてこのような知識を持っていてもらいたい。	*歌舞伎劇「三社祭」の情景場面をうたった劇中音楽を鑑賞、江戸期の情緒を味わう。 *感動の余韻褪めぬうち、会場の全員にウタ・セリフを、そして希望者3人に三味線のレッスンを受けてもらい、江戸期の風情・情緒を肌で体験、先祖から受け継ぎ体内に内包する民族性を感じてもらおう。
対象者	教育関係者(主として音楽教師)	小学校(5年生以上) 中学校 高等学校	小学校5年生以上大人まで 先生も可	一般(小学生以上大人まで)
講座所要時間	2時間X5回 5日間(10時間)	45分×2回/1学級(90分)	2時間X5回 5日間(10時間)	2時間
受講者人数	20~30名	1学級30名 1校3学級×10校	20名	250名
開催場所	青少年学習センター 又は、学校教室	学校教室	青少年学習センター(大会議室) 又は、学校教室	青少年学習センター 又は、グリーンホール多目的ホール
開催時期	夏休み	9月から12月(学校の都合に合わせて)	時期不特定	適時
参加費	10,000円(含テキスト代) 別に教本代1,600円	無料	無料	小中高校生:無料 大人:1,000円
備考		1単位授業を2日間に分けてもよい 年間10校	年2回開催、及び一講座5回は暫定的設定。増減は何回でも可能	・歌舞伎音楽 常磐津浄瑠璃「三社祭」の鑑賞 ・レクチャー 日本文化の特徴について ・浄瑠璃・セリフ・三味線の実技体験

予算

収入 (単位千円)	受講者負担金	300	0	0	100	400
	相模原市負担金	247	1,946	562	706	3,459
	合計	547	1,946	562	806	3,859
支出 (単位千円)	報償費	200	800	200	410	1,610
	人件費	10	100	50	55	215
	交通費	30	100	30	48	208
	賃借料	159	600	109	35	903
	運搬費	15	60	15	13	103
	製本印刷代	29	88	17	74	206
	会議費	18	90	45	45	198
	管理運営費	86	108	96	126	416
	合計	547	1,946	562	806	3,859

平成23年度 NPO法人 きょういく応援団 予算案

一般管理費 収支予算

収入の部

	平成22年度予算	平成22年度実績	平成23年度予算案	備 考
会費等	120,000	85,200	50,000	
寄付金	30,000	13,541	100,000	
	270,000	427,896	370,000	前年度繰越金より(A)
収 入 計	<b>420,000</b>	526,637	520,000	

支出の部

広報(含ホームページ)	50,000	7,430	50,000	
事務局人件費	200,000	200,350	300,000	
事務用品・消耗品	5,000	59,704	5,000	
通信費	40,000	21,259	30,000	
交通費	5,000	0	5,000	
会議費・交際費	10,000	980	10,000	
事務所経費	50,000	65,024	60,000	
印刷費	10,000	3,825	10,000	
租税公課		151,000	10,000	
雑損失		12,800		退会者過年度未納会費
予備費	50,000	4,265	40,000	
支 出 計	420,000	526,637	520,000	
収 支 合 計	0	0	0	

相模原市協働事業 学びなおし塾 いっぱい 収支予算

収入の部

項目	費目	平成22年度予算	平成22年度実績	平成23年度予算案	備考
受講者負担金	受講料	1,560,000	315,000	100,000	@5,000円×10人×2回=100,000円
	教材費	130,000	24,575	0	*受講生都度実費負担
きょういく応援団負担金	自己資金	0	32,983	0	
相模原市	協働事業負担金	3,222,000	3,222,000	3,222,000	
雑収入	預金利息				
収入合計		4,912,000	3,594,558	3,322,000	

支出の部

項目	費目	平成22年度予算	平成22年度実績	平成23年度予算案	備考
運営費	人件費(賃金)	3,834,000	3,222,000	2,940,000	・教室リーダー @160,000円×12月×1名=1,920,000円 ・教室サブリーダー @85,000円×12月=1,020,000円 (*市負担金を充当)
	事務局管理費	600,000	291,282	202,000	・通信費@10,000円×12か月=120,000円 (経理・管理・連絡調整等) ・消耗品費82,000円 (*市負担金を充当)
	予備費	58,000	0	0	
	報償費(謝礼)1	80,000	4,800	80,000	・ボランティア講師謝礼(交通費実費程度) @400円×100日×2名=80,000円 (*市負担金を充当)
事業費	報償費(謝礼)2	80,000	0	0	
	消耗品費	180,000	26,196	0	*事務局管理費に含める
	使用料及び賃借料	80,000	50,280	100,000	・公的施設等会場使用料 @1,000円×100回=100,000円 (*受講料を充当)
	支出合計	4,912,000	3,594,558	3,322,000	
収支合計		0	0	0	

職業講話

収入の部

	平成22年度予算	平成22年度実績	平成23年度予算案	備 考
講師派遣手数料	0	15,000	80,000	@2,000円×10名×4校
収入合計	0	15,000	80,000	

支出の部

項 目	費 目	平成22年度予算	平成22年度実績	平成23年度予算案	備 考
	広報(含ホームページ)	0	0	20,000	
	人件費(コーディネータ)	0	9,400	40,000	@1,000円×5時間×2名×4回
	旅費(コーディネータ)	0		8,000	@1,000円×2名×4回
	印刷費	0		9,000	準備資料および当日配布資料印刷費
	その他雑費	0		3,000	
支出合計		0	9,400	80,000	
収 支 合 計		0	5,600	0	